

ケネディ駐日米国大使との意見交換会を開催しました！

10月7日（金）キャロライン・ケネディ駐日米国大使が本校を訪れ、2年生国際科の生徒17名と交流しました。始めに平和班4名、医療班4名、水班4名の生徒がそれぞれのSGH研究活動について、英語でのプレゼンテーションや質疑応答を行いました。研究の着想や発展性に大使も感心しておられ、今後も研究を継続し、世界に貢献するよう激励をいただきました。

平和班	参加者 内容	大賀雄介、金子健太郎、平井里佳、安野伊万里 「長崎市を多文化共生社会に」「教育でアフリカを平和に」 「ナガサキアーカイブを非核のための副教材に」「ベトナムFW」 「高校生1万人署名」
医療班	参加者 内容	小笹愛実、西川響樹、藤本真緒、向井杏夏 「蚊の忌避効果を持つ石鹸」 「石鹸による手洗いで感染症対策」
水 班	参加者 内容	島崎日菜、竹川美菜未、永野貴寛、松尾彩加 「二枚貝・カキ殻の水質浄化効果」



↑ 平和班



↑ 医療班



↑ 水班

その後の意見交換会では、おくんちや米国留学等の質疑応答がなされ、ケネディ大使からは「ぜひアメリカに留学へ来てください」とのメッセージをいただきました。マスコミの取材に対し、医療班の小笹さんは「優しい方でした。研究を発展させて、国際的な貢献ができればいいなと思いました」と述べました。

意見交換会参加者： 大賀雄介、平井里佳、安野伊万里、藤本真緒、向井杏夏、竹川美菜未
永野貴寛、古賀日奈子、荒木聖達、川脇大樹、濱崎莉恵 櫻間郁佳

